

第2 刑法犯少年

1 刑法犯少年の年別推移

- 全刑法犯検挙・補導人員3,113人中に占める少年の割合は13.9%であった。
- 全国の全刑法犯検挙・補導人員に占める少年の割合は16.0%で、前年に比べて1.1ポイント増加している。

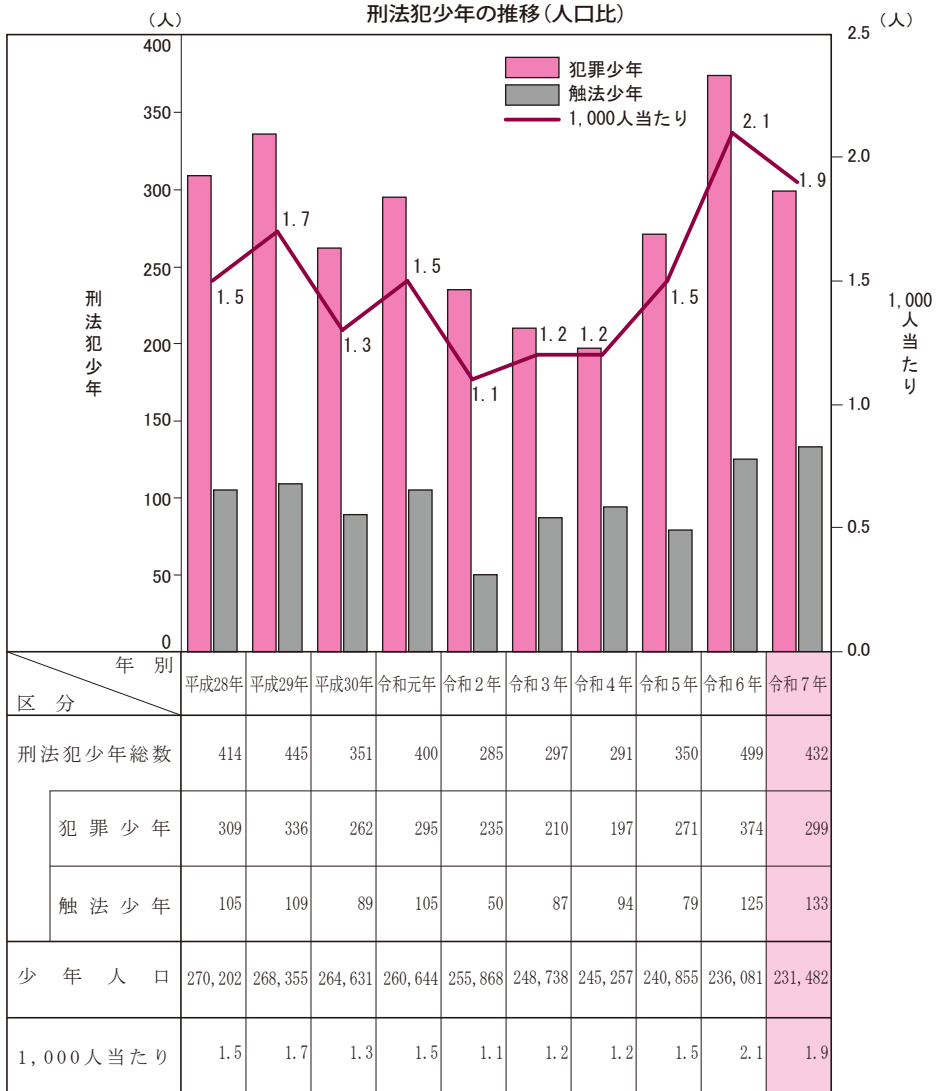
(%) 全刑法犯検挙・補導人員に占める少年の割合(年別推移)

区分		年別									
		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
岐阜	全刑法犯の検挙・補導人員(人)	2,950	2,884	2,937	3,143	2,982	3,102	2,824	2,919	3,158	3,113
	うち少年(人)	414	445	351	400	285	297	291	350	499	432
	少年の占める割合(%)	14.0	15.4	12.0	12.7	9.6	9.6	10.3	12.0	15.8	13.9
	再犯者率(%)	31.6	26.7	25.9	26.3	23.2	24.2	23.0	28.3	28.5	25.7
全国	全刑法犯の検挙・補導人員(人)	234,963	223,314	213,063	198,769	187,668	180,622	175,434	190,526	199,739	209,841
	うち少年(人)	40,103	35,108	30,458	26,076	22,552	20,399	20,912	26,206	29,675	33,594
	少年の占める割合(%)	17.1	15.7	14.3	13.1	12.0	11.3	11.9	13.8	14.9	16.0

(注) 県独自集計による。

2 刑法犯少年(人口比)の推移

○ 刑法犯少年の人口比(1,000人当たり)は1.9人と、前年より減少した。

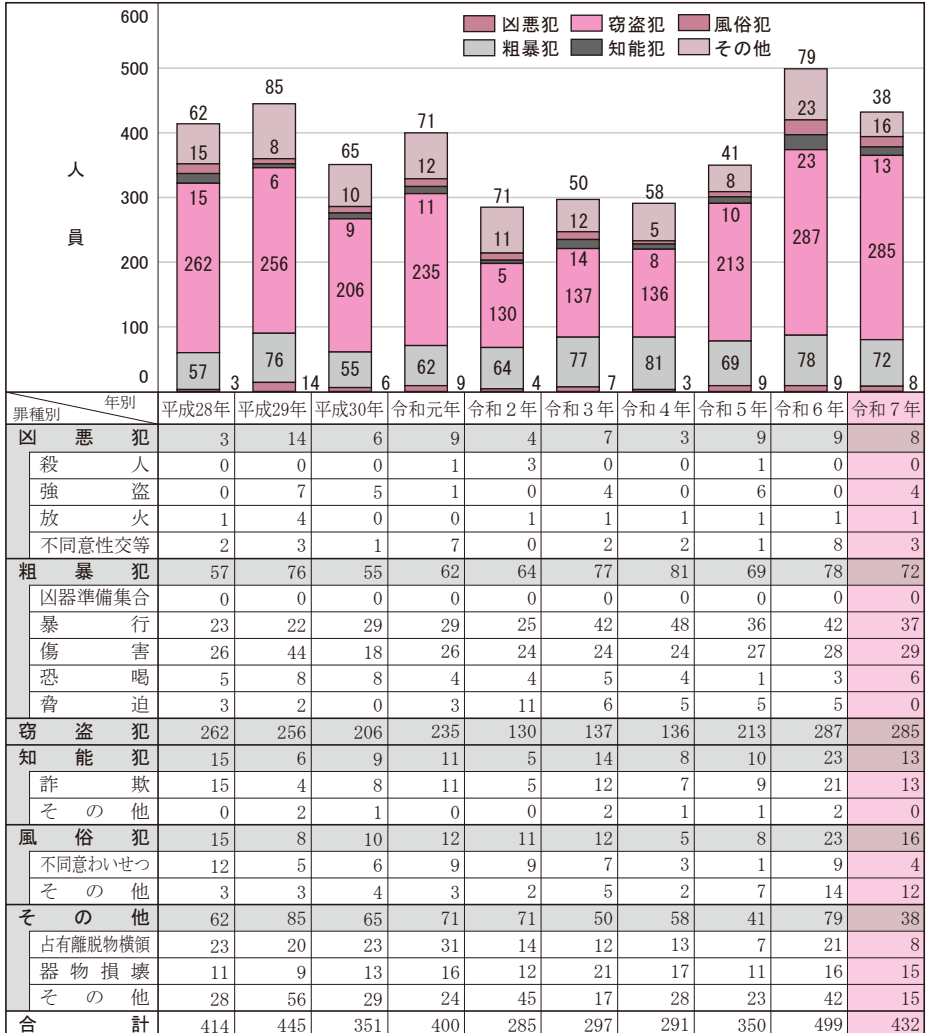


(注) 少年人口は、毎年4月1日現在の6歳から19歳までの人口。

3 罪種別

- 凶悪犯は8人で、前年比1人(11.1%)減少。
粗暴犯は72人で、前年比6人(7.7%)減少、窃盗犯は285人で、前年比2人(0.7%)減少、知能犯は13人で、前年比10人(43.5%)減少、風俗犯は16人で、前年比7人(30.4%)減少した。
- 刑法犯少年の罪種別構成比は、窃盗犯が66.0%であり、前年比8.5ポイント増加した。

(人) 刑法犯少年の罪種別の年別推移



5 窃盗犯少年の学職別・手口別

- 窃盗犯少年は285人で、前年比2人(0.7%)減少した。
- 手口別では、万引きが199人で最も多く、窃盗犯全体の69.8%を占め、次いで自転車盗の30人(10.5%)、学校荒しの6人(2.1%)の順であった。
- 街頭犯罪(自動車盗、オートバイ盗、自転車盗、車上ねらい、部品ねらい、自販機ねらい、ひったくり)は40人で、自転車盗が30人(10.5%)、オートバイ盗、部品ねらい、自販機ねらいが3人(1.1%)、車上ねらいが1人(0.4%)の順であった。
- 学職別では、中学生が93人(32.6%)と最も多く、次いで高校生が80人(28.1%)、小学生と有職少年が39人(13.7%)、無職少年が29人(10.2%)、その他の学生が5人(1.8%)の順であった。

窃盗犯少年の学職別・手口別状況

(人)

手口別	学職別 未就学	学 生 ・ 生 徒				有職少年	無職少年	合 計	前年対比(増減)		
		小学生	中学生	高校生	その他				人 員	比率(%)	
侵 入 盗	空 き 巢			1		2	1	4	0	0.0	
	学 校 荒 し			6				6	4	200.0	
	忍 び 込 み							0	0	—	
	出 店 荒 し							0	▲ 1	▲ 100.0	
	工 場 荒 し							0	0	—	
	そ の 他				3			1	4	2	100.0
	小 計	0	0	0	10	0	2	2	14	5	55.6
非 侵 入 盗	万 引 き		34	78	48	3	17	199	16	8.7	
	自 転 車 盗		3	7	13	2	5	30	▲ 6	▲ 16.7	
	オ ー ト バ イ 盗			3				3	▲ 11	▲ 78.6	
	自 動 車 盗							0	▲ 2	▲ 100.0	
	ひ っ た く り							0	0	—	
	自 販 機 ね ら い							3	3	—	
	車 上 ね ら い				1			1	▲ 2	▲ 66.7	
	部 品 ね ら い				1		1	1	3	2	200.0
	そ の 他		2	5	7		14	4	32	▲ 7	▲ 17.9
	小 計	0	39	93	70	5	37	27	271	▲ 7	▲ 2.5
合 計	0	39	93	80	5	39	29	285	▲ 2	▲ 0.7	
	構 成 比 (%)	0.0	13.7	32.6	28.1	1.8	13.7	10.2	100.0		
前年対比 (増減)	人 員	0	▲ 1	5	▲ 1	▲ 15	4	6	▲ 2		
	比 率 (%)	—	▲ 2.5	5.7	▲ 1.2	▲ 75.0	11.4	26.1	▲ 0.7		

(注) ▲印は、減少を示す。

6 学職別

- 刑法犯少年を学職別で見ると、中学生（137人）が最も多く、次いで高校生（125人）、有職少年（65人）、小学生（58人）、無職少年（33人）、その他の学生（14人）の順であった。
- 中学生・高校生は全体の60.6%を占めており、依然として非行の中心であるといえる。
- 学職別に見た女子少年の構成比は、高校生が35.9%、次いで中学生の26.9%、小学生の20.5%の順であった。

刑法犯少年の学職別・罪種別状況

(人)

罪種別		学職別		合計	未就学	学 生 ・ 生 徒				有職少年	無職少年
		小学生	中学生			高校生	その他				
凶 悪 犯	殺	うち女子									
	強	うち女子	4				1			3	
	放	うち女子	1				1				
	不 同 意	うち女子	3				2			1	
	小	うち女子	8				4			4	
粗 暴 犯	凶 器 準 備 集 合	うち女子									
	暴	うち女子	37	6	14	8				9	
	傷	うち女子	1			1					
		うち女子	29	4	4	11		2		7	1
	恐	うち女子	6		2					3	1
	脅	うち女子									
窃 盗	小	うち女子	72	10	20	19	2		19	2	
		うち女子	1			1					
知 能 犯	詐	うち女子	285	39	93	80	5		39	29	
	欺	うち女子	66	16	15	22	1		8	4	
風 俗 犯	詐	うち女子	13		3	5			3	2	
	欺	うち女子	4		1	3					
そ の 他	小	うち女子	13		3	5			3	2	
	不 同 意	うち女子	4		1	3					
そ の 他	不 同 意	うち女子	4	2	2						
	そ の 他	うち女子	12		1	9	2				
そ の 他	小	うち女子	16	2	3	9	2				
	占 有 離 脱 物 横 領	うち女子	8		1	4	3				
そ の 他	盗	うち女子	1			1					
	品	うち女子	2			2					
そ の 他	器 物	うち女子	15	5	9		1				
	損 壊	うち女子	1		1						
そ の 他	そ の 他	うち女子	13	2	8	2	1				
	小	うち女子	5		4	1					
合 計	小	うち女子	38	7	18	8	5				
		うち女子	7		5	2					
構 成 比	小	うち女子	432	58	137	125	14		65	33	
		うち女子	78	16	21	28	1		8	4	
前 年 対 比	(%)	うち女子	100.0	13.4	31.7	28.9	3.2		15.0	7.6	
		うち女子	100.0	20.5	26.9	35.9	1.3		10.3	5.1	
前 年 対 比 (増 減)	人	うち女子	▲ 67	▲ 8	▲ 2	▲ 25	▲ 16		▲ 8	▲ 12	
		うち女子	▲ 11	▲ 3	▲ 9	0	0		▲ 2	▲ 3	
	比率 (%)	うち女子	▲ 13.4	▲ 12.1	▲ 1.5	▲ 16.7	▲ 53.3		▲ 11.0	▲ 26.7	
		うち女子	▲ 12.4	23.1	▲ 30.0	—	—		▲ 20.0	▲ 42.9	

○ 刑法犯少年の過去10年間における学職別推移は、以下のとおり。

刑法犯少年の学職別・年別推移

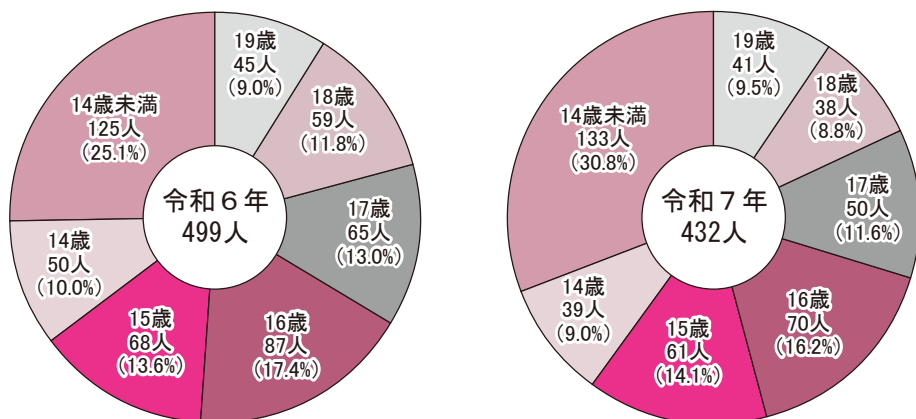
(人)

学職別		年 別		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
未 就 学				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		うち女子		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学 生 ・ 生 徒	小 学 生			46	58	43	53	33	50	53	37	66	58
			うち女子	9	14	4	11	11	13	16	9	13	16
	中 学 生			129	118	115	122	51	76	76	107	135	137
			うち女子	9	12	21	34	9	13	10	19	30	21
	高 校 生			94	118	91	103	90	95	71	98	150	125
			うち女子	20	11	20	21	15	13	15	17	28	28
そ の 他			24	16	14	19	24	8	18	8	30	14	
		うち女子	1	4	0	2	6	3	1	0	1	1	
有 職 少 年			82	93	43	79	67	54	56	62	73	65	
		うち女子	9	9	7	16	6	2	7	8	10	8	
無 職 少 年			39	42	45	24	20	14	17	38	45	33	
		うち女子	4	6	10	5	3	0	5	5	7	4	
合 計			414	445	351	400	285	297	291	350	499	432	
		うち女子	52	56	62	89	50	44	54	58	89	78	

7 年齢別

○ 刑法犯少年を年齢別で見ると、14歳未満が133人と最も多く、次いで16歳、15歳の順となっている。

刑法犯少年の年齢別状況



8 都道府県別全刑法犯検挙・補導人員に占める少年の割合

○ 岐阜県の全刑法犯の検挙・補導人員に占める少年の割合は13.9%で、全国平均より低い。

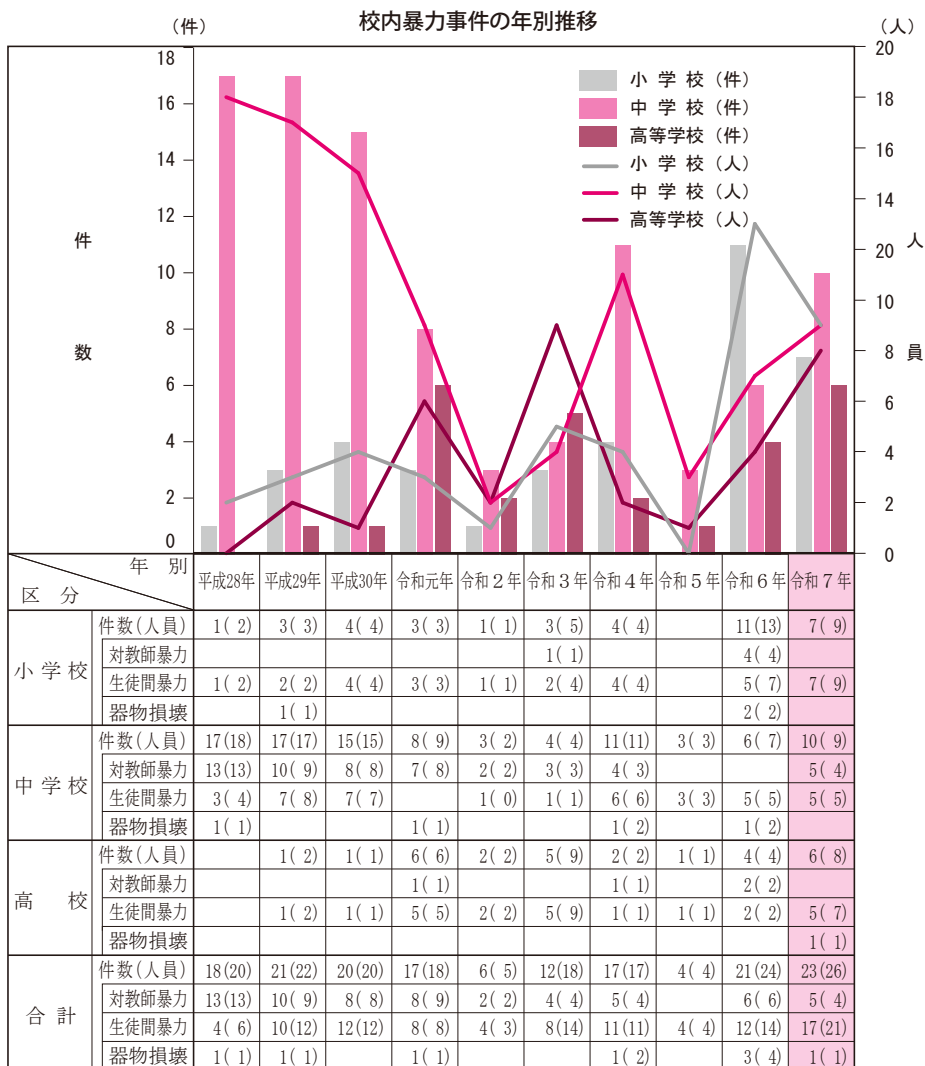
都道府県別全刑法犯検挙・補導人員に占める少年の割合

都道府県名	全 刑 法 犯 検 挙 ・ 補 導 人 員				少年の占める割合 (%)
	(人)	うち成人	うち犯罪少年	うち触法少年	
北海道	9,923	8,449	982	492	14.9
青森	1,541	1,362	116	63	11.6
岩手	1,245	1,051	118	76	15.6
宮城	3,089	2,692	308	89	12.9
秋田	974	858	78	38	11.9
山形	1,436	1,278	99	59	11.0
福島	2,259	1,944	195	120	13.9
東京都	25,915	21,762	2,825	1,328	16.0
茨城	4,346	3,802	392	152	12.5
栃木	2,240	1,904	269	67	15.0
群馬	3,389	2,977	317	95	12.2
埼玉	10,981	9,470	1,379	132	13.8
千葉県	8,654	7,554	1,019	81	12.7
神奈川県	12,345	10,764	1,477	104	12.8
新潟	3,238	2,763	383	92	14.7
山梨	938	844	79	15	10.0
長野	2,186	1,893	209	84	13.4
静岡県	6,101	5,311	597	193	12.9
富山	2,043	1,711	251	81	16.3
石川	1,602	1,390	160	52	13.2
福井	1,314	1,112	153	49	15.4
岐阜	3,113	2,681	299	133	13.9
愛知	12,967	10,917	1,724	326	15.8
三重	2,429	2,014	377	38	17.1
滋賀	2,664	2,154	371	139	19.1
京都	4,381	3,647	449	285	16.8
大阪	17,645	14,236	2,358	1,051	19.3
兵庫県	12,705	10,292	1,383	1,030	19.0
奈良	2,615	2,109	260	246	19.3
和歌山	1,734	1,439	180	115	17.0
鳥取	1,191	968	146	77	18.7
島根	930	791	91	48	14.9
岡山	3,199	2,465	534	200	22.9
広島	4,650	3,709	628	313	20.2
山口	2,102	1,691	316	95	19.6
徳島	926	816	91	19	11.9
香川	1,786	1,508	214	64	15.6
愛媛	2,006	1,675	197	134	16.5
高知	1,211	941	176	94	22.3
福岡	10,361	8,416	1,468	477	18.8
佐賀	1,545	1,318	152	75	14.7
長崎	1,911	1,677	163	71	12.2
熊本	2,982	2,441	411	130	18.1
大分	1,436	1,216	192	28	15.3
宮崎	1,561	1,279	193	89	18.1
鹿児島	2,294	2,050	166	78	10.6
沖縄	3,738	2,906	471	361	22.3
合計	209,841	176,247	24,416	9,178	16.0

(注) 県独自集計による。

9 校内暴力事件

- 校内暴力事件による検挙・補導は23件26人で、前年に比べ件数は2件増加し、人員も2人増加した。
- 態様別では、生徒間暴力が17件21人と最も多く、次いで対教師暴力の5件4人であった。
- 学職別では、中学生が10件9人、小学生の7件9人、高校生6件8人であった。



(注) () 内の数値は、人員数を示す。

10 いじめに起因する事件

○ いじめに起因する事件での検挙・補導は0件0人であった。

(件・人) いじめに起因する事件の年別推移

